

第4回全道推進会議における報告事項ならびに協議事項（概要）

【北海道労働金庫】

<報告事項>

1. 「2020年度事業計画（原案）」に係る会員討議の要請について

【全道推進会議】

<報告事項>

1. つなぐプロジェクト推進運動の展開
 - (1) 2019年12月末時点での「つなぐプロジェクト」対象項目の新規実績は44,420件、利用実績に応じた各地域の福祉団体への寄付見込額は4,442千円となっており、着実な運動の成果があらわれています。
 - (2) 2018年度「つなぐプロジェクト」の寄付団体との連携事例
2. 2019年度職域活動費の活用状況
 - (1) 「運動のプロセス」と「成果の見える化」により、職域活動費を効果的に活用した結果、2019年12月末時点で、505会員（14,290名）での活用、24,418千円の支出となりました。
 - (2) 2020年1月以降は、退職金獲得運動や可処分所得向上運動、更には商品説明等を議題とした学習会の開催により、年度予算超過が見込まれますが、ろうきん運動の更なる前進をめざし、予算超過を認める扱いとします。
3. パイロット推進委員会の取組み
～札幌西連合支店推進委員会の活動報告～

<協議事項>

1. 2020 連合北海道 春季生活闘争における「ろうきん運動」の取組み
 - (1) 連合北海道は、第75回地方委員会（2019年12月17日）にて、2020春季生活闘争方針における「ろうきん運動4項目」を確認しました。
 - (2) 全道推進会議としては、「2020春季生活闘争地域討論集会」にて、春闘ゾーンにおける「ろうきん運動4項目」の取組強化を確認・実践すべく、労福協を通じた運動を強化していきます。

2020 春季生活闘争方針「ろうきん運動4項目」の取組み

① つなぐプロジェクト推進運動

「つなぐプロジェクト件数目標（金庫事業目標）」と「会員自主目標」の連動を更に強化することで、「会員組合員メインバンクNo.1 運動」を進めます。

また、「会員自主目標の達成」に向け、職域活動費を有効活用した学習会・セミナーを開催し、ろうきん運動の前進を図ります。

② 各階層におけるろうきん運動の推進

ア. 退職金結集運動

「組合役員によるオルグ」「退職に向けた資産形成に関する学習会」を通じて、ろうきんへ退職金を結集する運動を展開します。

イ. 若年・女性・非正規雇用組合員に対する取組み

フルキャッシュバックサービスやろうきんアプリを周知しながら、「ろうきんメインバンク推進（お子さま口座を含む口座開設・給与振込）」「将来に向けた資産形成（財形貯蓄・iDeCo・つみたてNISA）」「低金利の融資商品利用」の取組みを展開します。

③ 可処分所得向上運動の推進

「銀行カードローン問題への対応（ろうきんカードローンの保有・利用）」「他行高金利ローン借換」「奨学金借換ローンの推進」により、組合員の可処分所得向上を図る取組みを展開します。

④ ろうきんアプリの周知活動

かんたん通帳機能や残高・入出金明細照会等が利用でき、組合員の利便性向上に資する「ろうきんアプリ」と、「キャッシュレス決済機能」の利用促進に向けた周知活動を積極的に展開する。

2. 「みんなみんなキャンペーン」周知活動の展開

- (1) 会員組合員の融資資金ニーズに応えるべく、2月1日（土）～7月5日（日）にかけて、無担保融資3商品^{*}を対象としたキャンペーン、「みんなみんなキャンペーン」の周知活動を展開します。

※ 対象商品：①轟ローン・轟先生・轟ほっと ②教育ローン(証書貸付) ③無担保住宅ローン

- (2) 広告宣伝のタレントとして、引き続き「木村 愛里」さんが起用されています。
- (3) 本キャンペーンにて、「競争力のある金利水準の周知活動」を通じた「組合員の利用拡大」に取り組むことで、メインバンクNo.1 運動を着実に推進します。

3. 「Web完結型轟ローン」周知活動の展開

- (1) 北海道ろうきんは、Web申込機能の充実に向けた取組みとして、2月1日（土）より「Web完結型轟ローン」の取扱いを開始します。

- (2) 「Web完結型轟ローン」は、非対面での取引を希望する組合員のニーズに応える取組みになることから、積極的な周知活動を展開します。

以上